

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図P439	図面に記載の含侵接着樹脂量は（目付量400g/m ² で0.6kg/m ² 、目付量600 g/m ² で0.6kg/m ² ）、各メーカーの使用量や、積算基準32-17頁の表14-20に記載の含侵接着樹脂と比較すると少ないように思われますが、記載の数量で積算されていると考えてよろしいですか。また、記載の含侵接着樹脂量で施工してよろしいでしょうか。ご教示ください。	5月18日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 図面に記載の含侵接着樹脂量は誤りとなります。なお、当該項目に係る交付図書を訂正いたしますので、詳細については、訂正公告をご確認ください。
2	単価表 番号12 縁端拡幅工B 鉄筋	北内房線橋P27橋脚(上下線)の鉄筋量について 設計図582頁には0.571t、設計図589頁、596頁には563kg、数量計算書1頁には0.571t、2-4頁、2-16頁には0.582tと異なる重量の記載があります。積算における鉄筋重量についてご教示願います。	5月18日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 0.571tが正しい記載となります。なお、当該項目に係る交付図書を訂正いたしますので、詳細については、訂正公告をご確認ください。